

映画の小箱

幸せそうに見える典型的サラリーマン家庭。ある日の夕食を境に家族の心は少しずつバラバラに…。一見憂鬱そうなテーマが痛快なタッチで繰り広げられていく。

『アメリカン・ビューティー』 金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru

とあるアメリカの中流家庭。 幸せ探しをする家族たちのドラマ

誠実に働き、自分たちにとって大切なものを手に入れたはずなのに、どこか違っている。当人たちは、まじめに行動しているのに、冷静に見るとちよつと可笑しい。考えてみると、どの家庭にもある、これは現実なのだ。日常に起こる出来事を丁寧におつていくなかに、現代社会の矛盾がじんわりと浮かび上がってくる。それはやがて鮮烈な印象となつていつまでも心に残るに違いない。

郊外の庭付きの一戸建て、小さいながらもプールもある。大きなダイニングルームがあつて、親子三人での食事。夫は雑誌社の広告担当で、車で通勤する四十二歳。共稼ぎ。妻は不動産ブローカーで、インテリアと庭でのバラ栽培が趣味。娘が一人いる。彼女は学生。サラリーマンの家庭なら、とりあえず理想とされる家庭と暮らさじやろう。夫も妻も、自分の思い描く夢を築いてきたに違いない。

しかし、家庭に一歩入つてみると、夫婦も親子も微妙にすれ違つている。

夫レスター(ケビン・スペイシー)がある日会社に行つてみると、新任のしかも年下で上司になった男に、自分を含め社員のリストラ対象のリストを作るように言い渡される。

夜の食事のときに妻キャロリン(アネット・ベニング)は、完璧なテーブルコーディネートで、家族との食事を迎える。BGMは、ペギー・リーの『バリ・ハイ』だ。

食事のときにレスターは、会社の愚痴をぶちまける。すると娘ジェーン(ソーラ・バーチ)に突然「ふだんは口もきかないくせに、自分にストレスがあるからつてそんな話をするわけ。ママの音楽もやめてちょうだい。大嫌い」と、言われてしまふ。

完璧な理想の家族のはずだったのに、おたがいに隙間風が吹いている。

キャロリンは、レスターにはもう出世の見

こみがなく、どこかで失望している。自分の家を売り飛ばして、不動産コーディネイターとして、世に認められたいと必死だ。

そんなある

日、夫妻は、

娘がバスケット

のチャアガール

で登場する

というので、

学校に行くこ

とにする。そ

れも娘の手前

行かないとま

ずいというこ

とからだ。そ

んなことは娘はと

くに見ぬいていて、

友達に「パパなんかこ

なくていいのに、最低よ」と話している。

この日、チャアガールを見たレスターは、なんとキャロルの友達でモデルになりたがつているアンジェラ(ミーナ・スパリー)にぞつこんになつてしまった。彼女が家に泊まりに

来た日、娘の部屋の二人の会話を盗み聞く。「パパつて私の友達に鼻の下を下げるなんて最低だと思わない?」

「あら、魅力的じゃない。あれでお腹がでてなきや、あたしなんか好みだけども」

この一言でレスターは埃まみれのダンベルを探しだし、ジョギングを開始。腹の出でない男になろうと発奮する。



お読みと訂正：本誌4月号の本欄におきまして、69頁下段6行目のパール、69頁下段8行目のパールは、共にパーシーの誤りでした。お詫の申し上げますとともに、訂正いたします。

ローヤルゼリー 進化論

高品質ローヤルゼリー

+

アガリクス茸

JRJの高品質ローヤルゼリーに、注目されるアガリクス茸を配合。それが進化したローヤルゼリー、JRJスプリウムローヤルゼリーAGです。

若い働き蜂の咽頭線から分泌されるローヤルゼリー。女王蜂はこのローヤルゼリーだけを食べ、体長は働き蜂の2倍から3倍、寿命は働き蜂の1か月に比べ、3年から5年と長生きします。そして、生涯、毎日2,000個から3,000個の卵を産み続けます。この生命力の源がローヤルゼリーです。

JRJスプリウムローヤルゼリーAGは、最高品質のローヤルゼリーに「奇跡のキノコ」として世界的に注目されるアガリクス茸を配合。より積極的に健康を考える皆様にお応えしています。ぜひ毎日の栄養補給、健康維持にお役立てください。



JRJスプリウムローヤルゼリーAG

調製ローヤルゼリー

60粒 ¥35,000 / 150粒 ¥70,000 (消費税別)

健康しつかり。



ジェーアルジェ株式会社

本社: 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル17階
TEL. 03-3345-2888 〒163-0517



キャロリンは、不動産業界でしられた男バ
ダイのパーティーにレスタアを誘い出す。なん
とかコネを作りた一心だ。ところがレスタ
アは、バダイに酔って悪態をつき、妻のよそ
ゆき顔をぶち壊す。そして隣りに越してきて

ボーイのアルバイトをしていたリッキーに声
をかけられ、マリフアナを薦められ、急に青
春時代を思い出すのだ。

「ボーイのアルバイトは大丈夫かい?」

「いや、これは親の目を隠すため。本当のアル
バイトはマリフアナの売買。どうです」

「今度も頼むよ。月にいくらになるの」

「三千ドルから四千ドル」

「すごいな。俺の若いときはせいぜいハンバ
ーガーのアルバイト。それでも燃えたなあ。

君はつきりしていてえらいなあ」

レスタアは、その日から、妻の嗜好に合わ
せることをせず、青春時代のロックを聴き始
め、会社では会長の女遊びを告発してあつさ
りクビ。なんと青春を取り戻そうとハンバ
ーガーショップに就職してしまうのだ。

ここでは、経済社会や物やメディアが作り
出した、一つの理想の家庭や社会の矛盾を強
烈に突いて見せる。物でもない形でもない、
本当の幸せとはなにか。今を生きる人たちの、
幸せ探しが、彷徨する現代人の姿が、三人の
家族と三人に関わる人々を通して、見事に、
ここには凝縮されている。

♪

『アメリカン・ビューティー』 AMERICAN BEAUTY

(1999年 アメリカ映画/UIP配給)

監督=サム・メンデス

出演=ケビン・スペイシー、アネット・ベニング、ソーラ・バーチ、ウエス・ベントレー、
ミーナ・スパーリ、クリス・クーバー、ピーター・ギャラガー